

『静物』



※奥行き表現に苦労しました。



3年2組
秀島 幸江さん



3年4組
椎名 仁美さん

『夜』



※夜の感じを表現するのに苦労しました。



『静物・・・秋』

3年4組
小口 久美子さん
※本の質感を表現するの
に苦労しまし
た。



『静寂』



※波の感じを表現するのに苦労しました。



3年2組
椎名 昭子さん



3年1組
鈴木佐知子さん

『静物』



※鳥の羽の模様が難しく、苦労しました。

ひかり歌壇

抜き目出て四五本杉の秀群立つ

五月の空はあくまで青し

大木静波子 (篠本二区)

ピラカンサ真白き小花びつしりと

挿めき合いて枝に溢るる

伊藤 定男 (尾垂五区)

「遅ると返へし難きは借金と

便りなり」とぞ亡父の遺筆は

青柳 フミ (橋場)

久々に待ち合う駅の雑沓に

見つけし従妹は髪に霜おく

藤代 敏子 (宮内)

びしょ濡れて帰りし猫は身を寄する

言葉かけつつ毛並み拭えり

伊藤 鏡子 (虫生)

凜として花咲き誇る鉄線の

雨呼ぶ風にもろく崩るる

椎名 静子 (二又)

農馴れぬ嫁と語りつつ

初夏の陽の照る畑に馬鈴薯を掘る

土屋 好 (虫生)

明け初むる庭の静寂に

諸木々の緑ゆたかに伸び盛むなり

竹内 紀葉 (篠原)